

Floristry フラワー装飾

知識と技能を駆使して美しい花の魅力を引き出す

フラワー装飾は、生花を中心としたアレンジメントや花束の制作、冠婚葬祭やウィンドウディスプレイ装飾をデザイン制作するための技能です。競技では支給された花材と資材を使い、花束、ブライダルブーケとブートニア、アレンジメント等を制作します。優れたデザイン性や獨創性、そして色彩感覚をカタチにする技能が必要とされるのはもちろん、花を含めた植物を扱うため、植物等に関する基礎知識も求められます。競技時間は2日間で6時間。美しい花がより魅力的になる過程に注目です。

競技について 競技時間：2日／6時間

競技課題は4課題です。1日目は①「どこからでも見栄えする360°展開の『花束（骨組み付）』」、②テーマを的確に再現した『ブライダルブーケ』の制作に加え、③当日発表される課題の「サプライズ競技①」の制作、2日目は④「サプライズ競技②」があります。テーマに沿って自分の世界観を表現する作品を制作。インスピレーションによる対応力が必要です。また基礎技術やテクニックに加え、アイデアや獨創性、色彩や表現力が問われます。

競技職種と生活との関わり

花束やブライダルブーケ、フラワーアレンジメントは、母の日や父の日、誕生日などのイベントごとを華やかに演出してくれます。結婚式やパーティー、あるいは葬儀場などの装飾には花が付きもの。シーンに合わせた装飾を検討し、イメージにぴったりの作品を作る技術が求められます。フラワーショップでの生花の販売員として従事する場合は、フラワーアレンジを求められる場面が多く、確かな技能を生かして、お花の専門家として第一線で活躍することができます。

前回大会金メダリストからメッセージ！

国際大会目指して頑張ってください！！



北 勇太郎さん
幾何デザイン



優れた感性で花材に向き合い、 丁寧かつスピーディーに イメージをかたちにする！

ポイントは自らのイメージを作品にどれだけ反映させられるかです。そのためには、それぞれの課題で求められるスキルを確実にこなすことに加え、課題への理解と創造性のバランスを取ることが求められます。また、植物それぞれのキャラクターを理解することや、花材を傷めることなく取り扱うための知識も必要です。これらがあって初めて、花の魅力を引きだせることができます。同じ種類の花が、選手によって異なるアレンジへと変化していきます。

河合 透主査
フラワー装飾技能検定中央協議会



2022年大会
競技風景

